

テーマ：「ソーシャル・キャピタルとは何か」

一昨年3月、東日本大震災が発生し、東北地方を中心に甚大なる被害を与えた。そのなかで、東日本大震災の被災地では、その集落や地域コミュニティにおける人々が助け合い、支え合いが取り上げられ、人と人とのつながりが確実に生きていることが実証された。

そこで今回は、この人と人とのつながりを意味する「ソーシャル・キャピタル（邦訳では社会関係資本）」という概念とその効果を中心に紹介したい。

1 ソーシャル・キャピタルとは（定義はさまざま）

ソーシャル・キャピタルとは、人々が他人に対して抱く「信頼」、それに「お互い様」といった言葉に象徴される「互酬性の規範」、人や組織の間のネットワーク（絆）。平たく言えば、「人と人とのつながり」のこと。

2 ソーシャル・キャピタルの類型

① 結束型ソーシャル・キャピタル

同質な者同士を結びつけるソーシャル・キャピタル。
つながりは強固だが、閉鎖的。

ex 大学の同窓会、商店会、消防団等の地縁的な組織

② 橋渡し型ソーシャル・キャピタル

異質な者同士を結びつけるソーシャル・キャピタル
ゆるやか信頼でつながっており、開放的。

ex 被災者救済のためにさまざまな経歴の人々が集まるNPOなどの組織。

3 ソーシャル・キャピタルの特徴

- ① ソーシャル・キャピタルは周囲の人々との間に埋め込まれた存在。
- ② ソーシャル・キャピタルは歴史や文化によって影響を受ける。

4 ソーシャル・キャピタルが影響を及ぼす分野

① 企業を中心とした経済活動

(1) 経営学からの観点

- ・日本経済停滞の原因⇒社内カンパニー制による部分最適化
⇒企業内のネットワーク、つまりソーシャル・キャピタルが崩壊

(2) 経済学からの観点

- ・売り手と買い手間の情報格差を補完するプラスの効果。
⇒契約や訴訟コストなどの取引費用の低下。

② 地域社会の安定

(1) 犯罪とソーシャル・キャピタル

犯罪が多いほど密な人間関係が増加する一方、開放的な人づきあいは減少

(2) ソーシャル・キャピタルと地域コミュニティの安定

防犯を契機に、地域に交流の好循環が生まれた。

③ 国民の福祉・健康

ソーシャル・キャピタルが影響を与える最重要分野の1つ。

・ハーバード大学公衆衛生大学院のイチロー・カワチ（1997）によると…

所得格差がソーシャル・キャピタルを毀損し、その結果、健康状態に影響を与える。

⇒社会疫学はソーシャル・キャピタルが最も頻繁に議論され、最も研究が進んでいる分野。

④ 教育

アメリカの研究によると…

教育程度が高い人ほど、一般的信頼が高く、ネットワークも大きい。

⇒教育がソーシャル・キャピタルを育むという推論が成立。

⑤ 政府の効率

5 ソーシャル・キャピタルの計測（定量化）

ソーシャル・キャピタルを計測する試みとして、

① 社会全般への信頼等の計測

「たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、用心するに越したことはないと思いますか？」という問いを用いて社会全般への信頼を計測している。

日本では、「国民性の研究」（統計数理研究所が5年ごとに実施）

国際的には「世界価値観調査」やアメリカの一般社会調査でも設定あり。

② コミュニティレベルのソーシャル・キャピタルの計測

(1) 客観的な統計を用いて指数を作成するもの。

都道府県別市民活動インデックスの作成（大阪大学 山内直人）

(2) 個人に直接質問した結果を集計して指数を作成するもの。

③ 個人レベルのソーシャル・キャピタルの計測

(1) アンケート調査の個人データの利用

(2) 実験により信頼や規範などの認知的な価値観を計測

(3) ネットワークの構造を個人を中心に計測。

6 おわりに

今回は人と人のつながりを意味するソーシャル・キャピタルについて紹介してきた。ソーシャル・キャピタルは社会の潤滑油のようなものであり、当たり前のようなものと考えられてきたが、現代では希薄になりつつあるのかもしれない。そうであるならば、ソーシャル・キャピタルの醸成を促す取組が必要となってくる。では、行政にできるソーシャル・キャピタル醸成の取組とは一体どのようなものか。今後の研究のなかで、明らかにしていきたい。